



mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



立夏...暦の上では夏来たる



暦の上では、はや「立夏」となりました。もう夏が立っちゃいましたよ、どうしましょ (苦笑)。5月とはいえ30度を越す地域もあり、本当に暑くなりました。

「立夏」とは、しだいに夏めいてくる頃のことです。あおあおとした緑、さわやかな風、気持ちいい五月晴れの季節です。…一気に夏にならないで、さわやかな5月であってくださいお願いだから。

二十四節気 立夏

初候「蛙始めて鳴く (かえるはじめてなく)」5月5日～9日頃



野原や田んぼで、蛙が鳴き始める頃。オスの蛙が、メスの蛙を恋しがって鳴く声だそうです。

そして、カエルとくれば、これまた定番のこのネタの出番ですね (笑)。行数が足りないので次ページに掲載します。

では、その前に…



ゴールデンウィークで見つけてきた初夏



一気に駆け抜けた4月 (ちょっとカッコつけてみました: 苦笑) を終え、少しは余裕のもてるGW (のはず)。いろいろすることはありますが、その合間を縫って初夏を探しに行ってきました。

「いずれ菖蒲 (アヤメ) か杜若 (カキツバタ)」、有名なことわざです。どちらも美しく比べようがない、という意味です。ちなみに「いずれがアヤメかカキツバタ」と、「が」が付くと微妙に意味が違って来よう。そのカキツバタを観に行ってきました。一面の青紫色に初夏を感じます。ちなみに、この長崎にあるような眼鏡橋、岡山にもあるんです。全国的にも珍しく、下の部分が半円でなく正円となっています。その眼鏡橋が横たわる池の半面にカキツバタの群生。見事な風景で、まるで一枚の印象派の画家の絵画のようですね。

その季節季節の旬のものを探して回る…その度に目と心の保養となっています。



まるでスイスカフランスか…と見間違えような風景ですが、ちゃんと岡山です (笑)。



カキツバタにアゲハチョウがとまっていました。青紫色に黄色に緑色…自然の色って素晴らしい!



カエルの歌が聞こえてくるよ♪

立夏となり、カエルが鳴き始める季節の到来です。

もうすぐ田んぼの水路や川からカエルの声が聞こえき始めます。

毎年、この時期に思い出す話がありまして、今回はそのお話にお付き合いを。



幼少時（あったんです）、家の周りは田んぼだらけで、夏ともなると田植えした田んぼの水路からカエルの合唱が連日連夜聞こえてきて、暑さとも相まって寝苦しい夜の毎日でした。ゲコゲコグワグワッ、うるさいったらありゃしない。



しかし毎夜毎夜聞かされていると、いろいろと気づくことも出てきます。

この辺り研究熱心ですね（笑）。凄まじい合唱なんですけど、そのうちフト、急に静かになるんです。急に訪れる静寂は、それまでの騒がしさの反動からか、恐ろしさを感じるものです。でも、これでやっと眠れる、との安心も束の間、沈黙に耐えかねるのか、ついどこぞのバカガエルが、静寂を破り、小さく「ゲコッ」と鳴くんですね。そしたらそれを待ってたかのように、後から後から耳をつんざくような合唱が再び始まります。そしてまた急に静かになり、そしてまた一匹が・・・の繰り返しです。まあそれを子守歌に、知らない間に寝てるんですけども。

この話で思うのは、人間もカエルも似たようなものなのかな、と（笑）。人間社会でも、沈黙に耐えられずつついっぴ話を始めてしまう人っていますよね。それにつられてしまう人も。人間とカエルの違いと言え、このままじゃいけない、と感じて考えて学習して改善できる場所なのでしょう。

さあ、伊里中の最初に鳴いてしまうカエルは誰だ！？すぐつられてしまうカエルは誰だ！？周りに流されないカエルは誰だ！？

何にせよ、考えて学習できるカエルになろう！！あ、カエルになったら困るか（笑）。これは例え話ですので、本当のカエルにはならないように気をつけてください。

閑谷研修無事終了 修学旅行へGO！



テントの下で入所式



3年出発式は外で！

天気には苦戦しましたが、10日には1年生の閑谷研修が無事終了。そして11日（本日）の朝6時40分には、3年生が修学旅行へ出発して行きました。お天気も何とかもちそうです。

閑谷研修には引率して行きましたので、また突撃体験レポートを掲載します（笑）。乞うご期待！雨の閑谷で何か起こったのか（笑）？

二十四節気 立夏

次候「蚯蚓出ずる（みみずいずる）」 5月10日～14日頃

ミミズが土の中から出て来る頃。人には嫌われがちですが、土を肥やしてくれる、田畑の隠れた味方です。

